



詳しい内容は、市ホームページで読むことができます。

地域間交流施設(金桁温泉)整備起工式

歴史ある「金桁温泉」ブランドの復活を目指して



くわいれ 掘入の儀を行う守田市長

5/20 地域間交流施設(金桁温泉)の整備起工式が執り行われ、工事関係者など約40人が参加し守田憲史市長が「市内外の人々に、交流が生まれる場を提供し、歴史ある金桁温泉ブランドの復活を目指す」とあいさつしました。施設は木造平屋建ての192.00㎡で男女の浴室や足湯、休憩所などを備える予定です。総工費は約2億円で、7割が国からの交付金で補填されます。外観は、三角町を連想させる三角の屋根を連続させることで“つながり”を表現したデザイン。12月末に完成し、来年3月中のオープンを目指しています。

熊本県建設業協会宇城支部青年部が草刈りボランティア奉仕活動でイメージアップを

5/23 宇城地区の建設業者からなる熊本県建設業協会宇城支部青年部(吉田洋平代表)が豊野小・中学校で除草活動を行いました。同部は子どもたちに建設土木業への関心を持ってもらおうと地域貢献を兼ねて、毎年ボランティアを行っています。

この日は、メンバー約20人が校舎の南側にある斜面や旧豊野小学校の草刈りに取り組みました。

作業を見守っていた、豊野小・中学校の本村由紀博校長は「傾斜がきつく、職員だけでは作業が難しかった。皆さんにご協力いただき大変助かる」と感謝していました。



傾斜がきつい斜面での作業

松橋高校「松橋観音様めぐり」歩いて学ぶ町の歴史



現地で十一面観音や千手観音について発表しました

5/25 松橋高校情報処理科の3年生が「松橋観音様めぐり」を開き、約20人が参加しました。課題研究の授業で取り組んできた松橋三十三観音について、知識を深めながら地域の人たちと交流を深めようと初めて企画。卒業生が作成したパンフレットを引き継いだ3年生が、地元の人たちと共に、5体の観音を巡礼しました。3年生の寺下拓巳さん＝松橋町＝は「実際に観音様を管理する人や地元の皆さんに、歴史やルートについて詳しく教えていただいた。これからも地域とのつながりを大切にしたい」と話していました。

宇城市の社会教育へ6項目の提言 社会教育委員が教育委員会へ提言書を提出

3/28 宇城市社会教育委員(桑島弘行会長)は、各委員が培ってきた経験に基づいてまとめた提言書「宇城市社会教育について」を、平岡和徳市教育長に手渡しました。

この提言書は今後の宇城市社会教育推進のための指針を示すもので、6つの項目の提言に、社会教育のあるべき姿や期待する学びの在り方などが盛り込まれています。

5月に開催された教育委員会では、この提言書についての協議が行われ、今後の社会教育推進のための参考としていくことが確認されました。



提言書を手渡す桑島会長(左)と平岡教育長

みんなで学ぼう走り方教室 楽しく走って速く走ろう



走る楽しさを体中で感じていました

5/12 小学生を対象とした「みんなで学ぼう走り方教室」に、市内の小学生約40人が参加しました。運動会を前に、児童に楽しく速く走るコツについて学ぶ機会を提供しようと、熊本大学陸上競技スクールの岡田聖史さんらが指導。マーカーコーンを使ったウォーミングアップなど、ゲーム性を取り入れたバラエティー豊かなトレーニングに、楽しみながら速く走るポイントを学んでいました。参加した奥村直登くん＝豊福小2年＝は「ジャンプする練習が難しかったけれど楽しかった。今度の運動会が楽しみ」と笑顔で話しました。

街なか図書館開館3周年記念 高尾九州男展「高尾先生を語る会」 あの日の先生の面影を思い出して

5/18 街なか図書館「濱まち」で、戦前・戦中は朝鮮で、戦後は宇城地域の中学4校で国語教師として教鞭を振るい、文学者としても活躍した高尾九州男さんに関する展示が行われました。これは開館3周年を記念して開かれたもの。この日は教師時代の同僚や教え子など約30人が集まり、在りし日の高尾さんの思い出を語り合いました。教え子の平山隆夫さん(73)＝松橋町＝は「高尾先生は指導に情熱的だった。厳しい中にも愛情があったからこそ、没後33年たってもこんなにたくさんの方が集まってくれた」と懐かしみしました。



うえつかなおたか 教え子の上塚尚孝さんが高尾さんの思い出を語りました